

資料編

- 第3期八戸市地域福祉計画の策定に係るアンケート調査結果
- 第3期八戸市地域福祉計画策定の経過
- 八戸市健康福祉審議会 社会福祉部会 委員名簿
- 八戸市健康福祉審議会規則

資料編

■第3期八戸市地域福祉計画の策定に係るアンケート調査結果 (21年度と27年度の比較)

1) 基礎情報

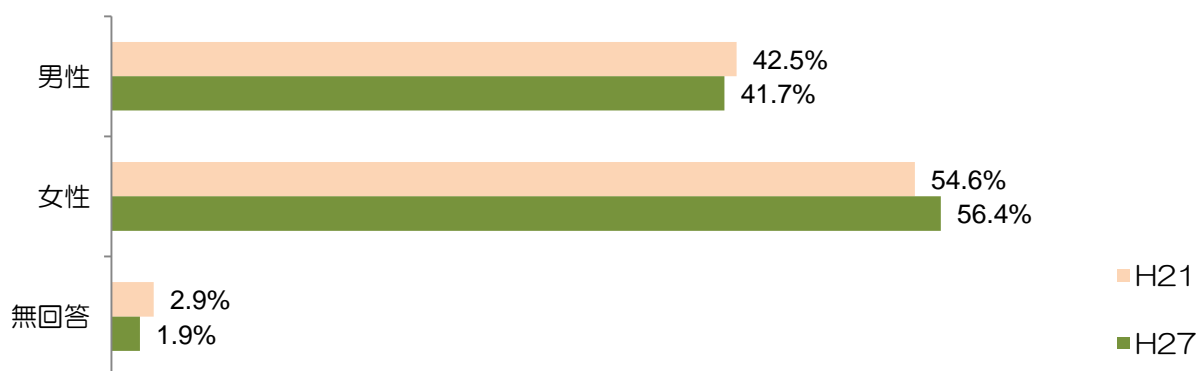
《調査概要》

実施年度	21年度(2009年)	27年度(2015年)
基準日及び対象人数	平成21年10月15日現在で八戸市に住民票がある人 2,000人	①平成27年5月15日現在で八戸市に住民票がある人 1,900人 ②市政モニター 100人
対象年齢	18～75歳	18～75歳 ※上記①のみ
男女比率	1:1	1:1
送付部数	2,000部	2,000部
回答者数	800人	986人
回答率	40.0%	49.3%

《回答者の属性》

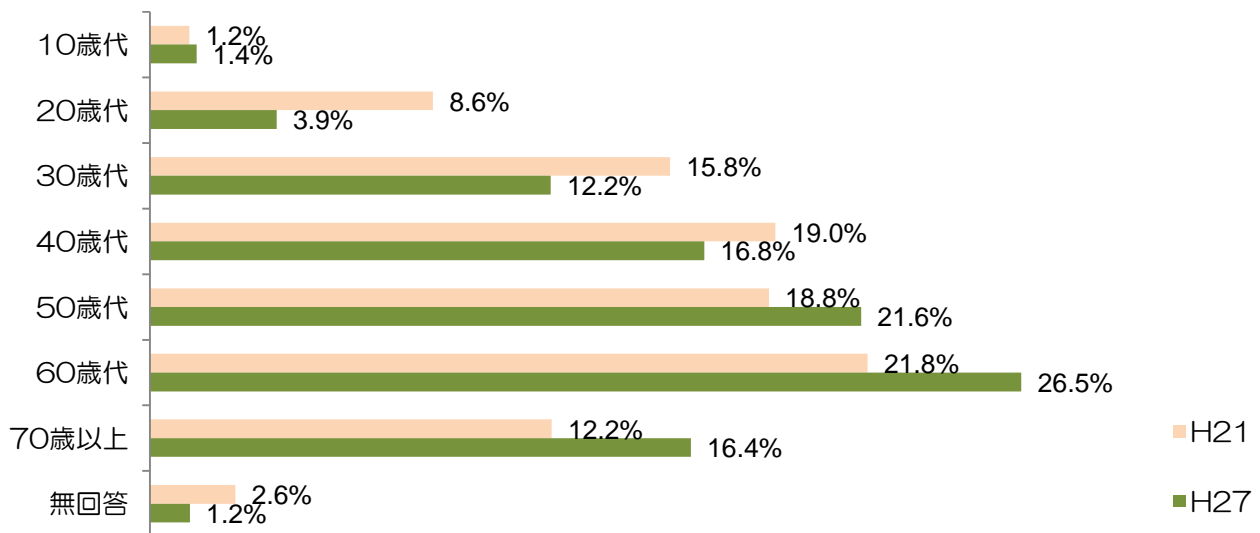
■性別

選択肢	H21		H27	
	回答数	全体比	回答数	全体比
1 男性	340	42.5%	411	41.7%
2 女性	437	54.6%	556	56.4%
3 無回答	23	2.9%	19	1.9%
合計	800	100.0%	986	100.0%



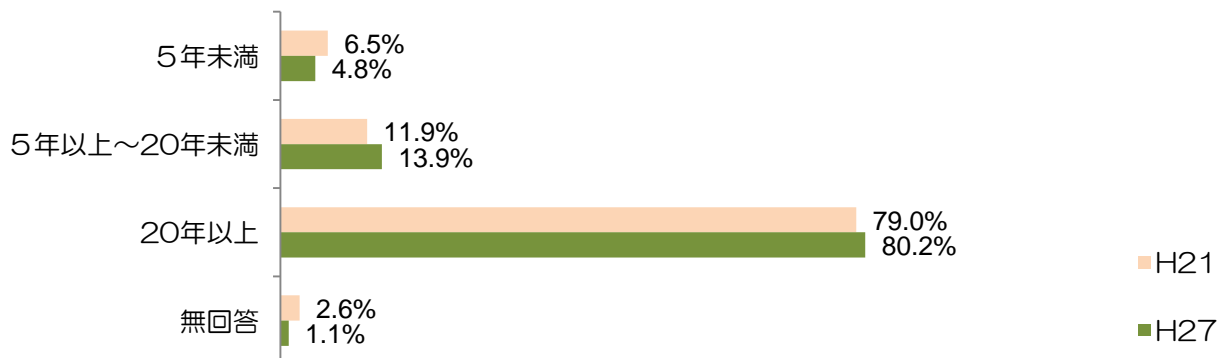
■年齢構成

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	10歳代	10	1.2%	14	1.4%
2	20歳代	69	8.6%	38	3.9%
3	30歳代	126	15.8%	120	12.2%
4	40歳代	152	19.0%	166	16.8%
5	50歳代	150	18.8%	213	21.6%
6	60歳代	174	21.8%	261	26.5%
7	70歳以上	98	12.2%	162	16.4%
8	無回答	21	2.6%	12	1.2%
合計		800	100.0%	986	100.0%



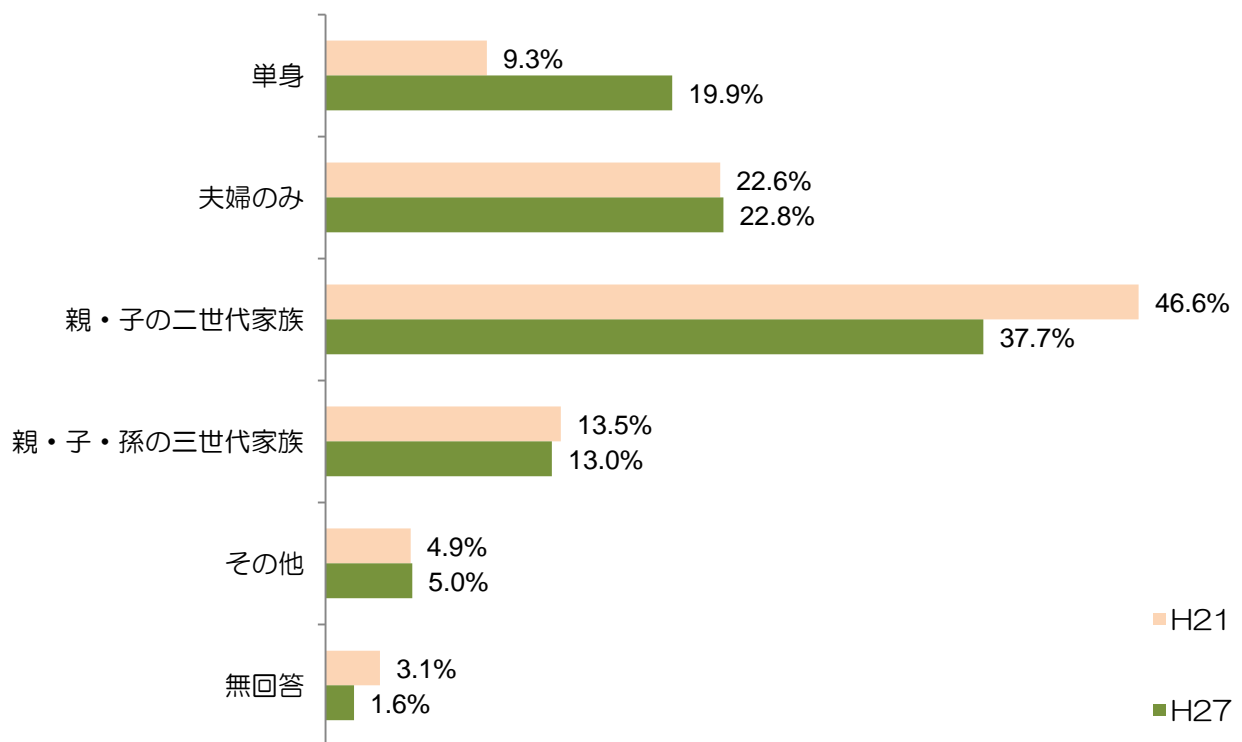
■在住年数

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	5年未満	52	6.5%	47	4.8%
2	5年以上～20年未満	95	11.9%	137	13.9%
3	20年以上	632	79.0%	791	80.2%
4	無回答	21	2.6%	11	1.1%
合計		800	100.0%	986	100.0%



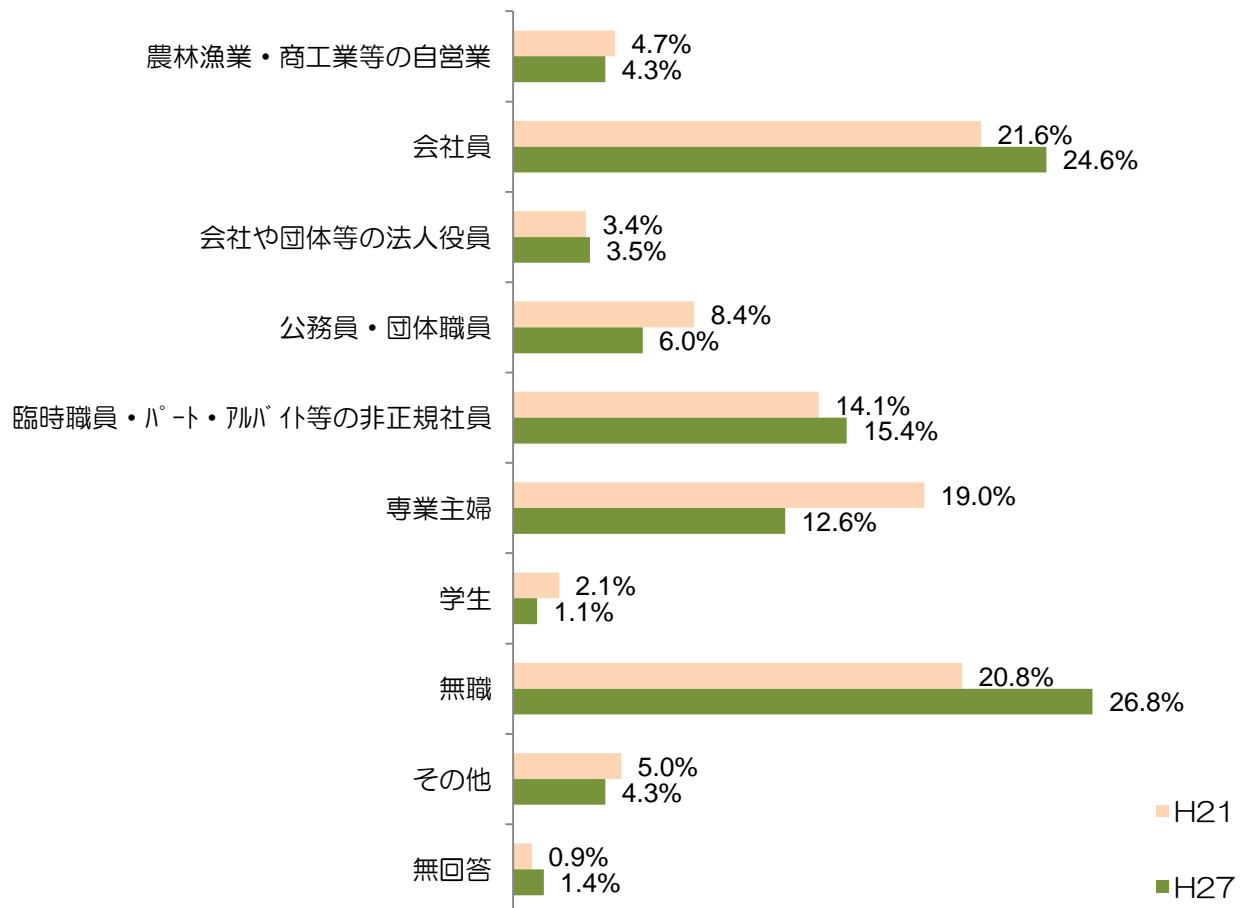
■家族構成

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	単身	74	9.3%	196	19.9%
2	夫婦のみ	181	22.6%	225	22.8%
3	親・子の二世世代家族	373	46.6%	372	37.7%
4	親・子・孫の三世世代家族	108	13.5%	128	13.0%
5	その他	39	4.9%	49	5.0%
6	無回答	25	3.1%	16	1.6%
合 計		800	100.0%	986	100.0%



■職業

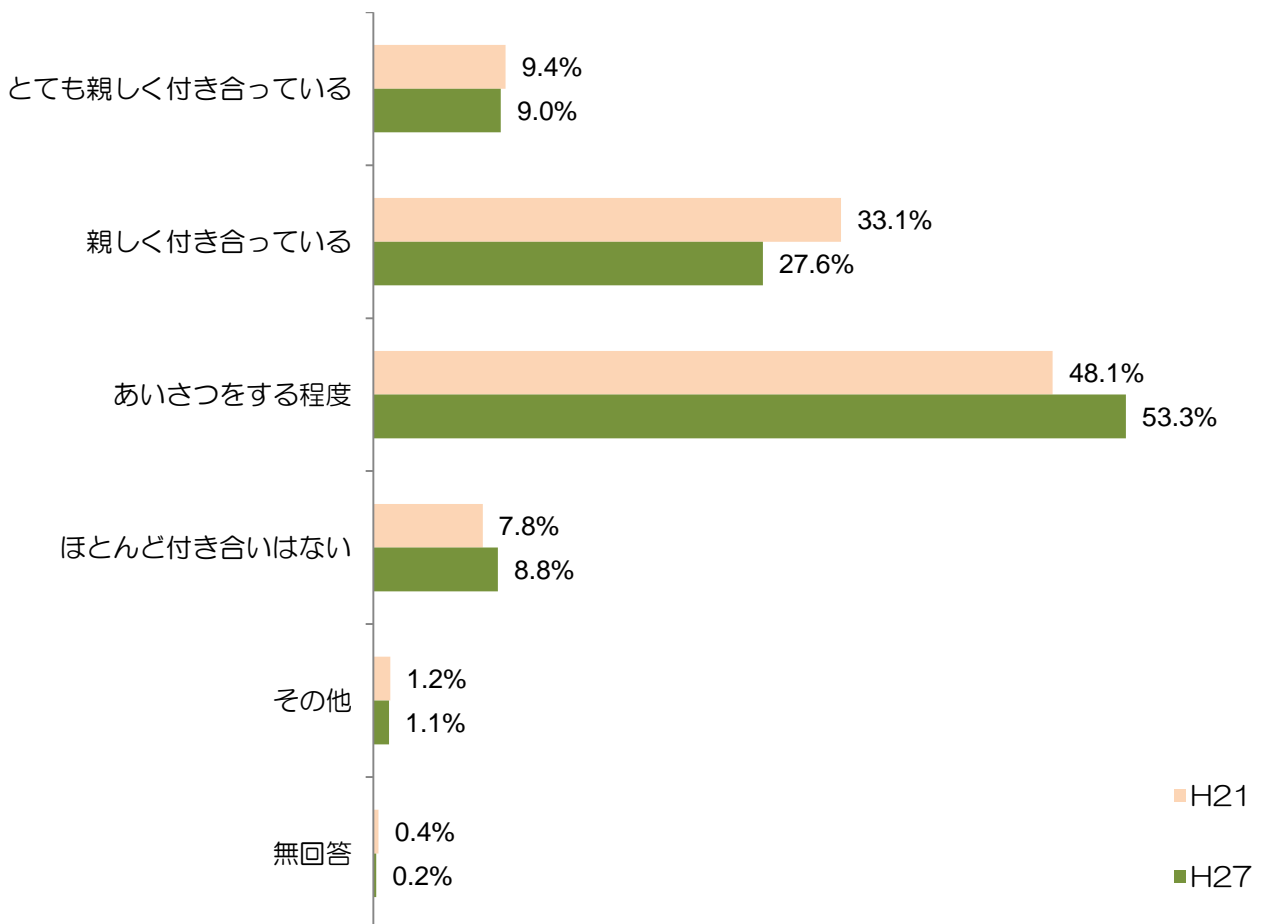
選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	農林漁業・商工業等の自営業	38	4.7%	42	4.3%
2	会社員	173	21.6%	243	24.6%
3	会社や団体等の法人役員	27	3.4%	35	3.5%
4	公務員・団体職員	67	8.4%	59	6.0%
5	臨時職員・パート・アルバイト等の非正規社員	113	14.1%	152	15.4%
6	専業主婦	152	19.0%	124	12.6%
7	学生	17	2.1%	11	1.1%
8	無職	166	20.8%	264	26.8%
9	その他	40	5.0%	42	4.3%
10	無回答	7	0.9%	14	1.4%
合計		800	100.0%	986	100.0%



2) 地域とのかかわりについて

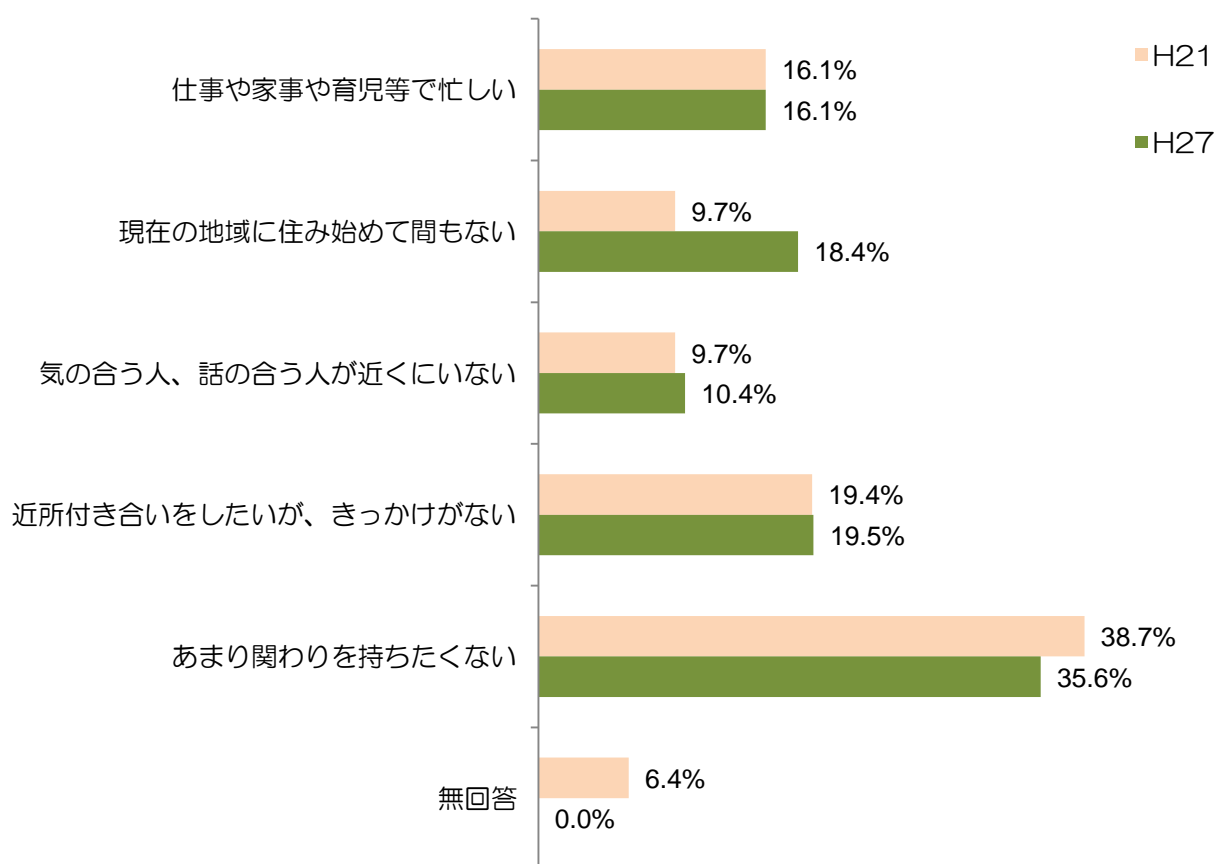
問1：あなたは、ご近所とのお付き合いをどの程度していますか。(1つ選ぶ)

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	とても親しく付き合っている	75	9.4%	89	9.0%
2	親しく付き合っている	265	33.1%	272	27.6%
3	あいさつをする程度	385	48.1%	525	53.3%
4	ほとんど付き合いはない	62	7.8%	87	8.8%
5	その他	10	1.2%	11	1.1%
6	無回答	3	0.4%	2	0.2%
合 計		800	100.0%	986	100.0%



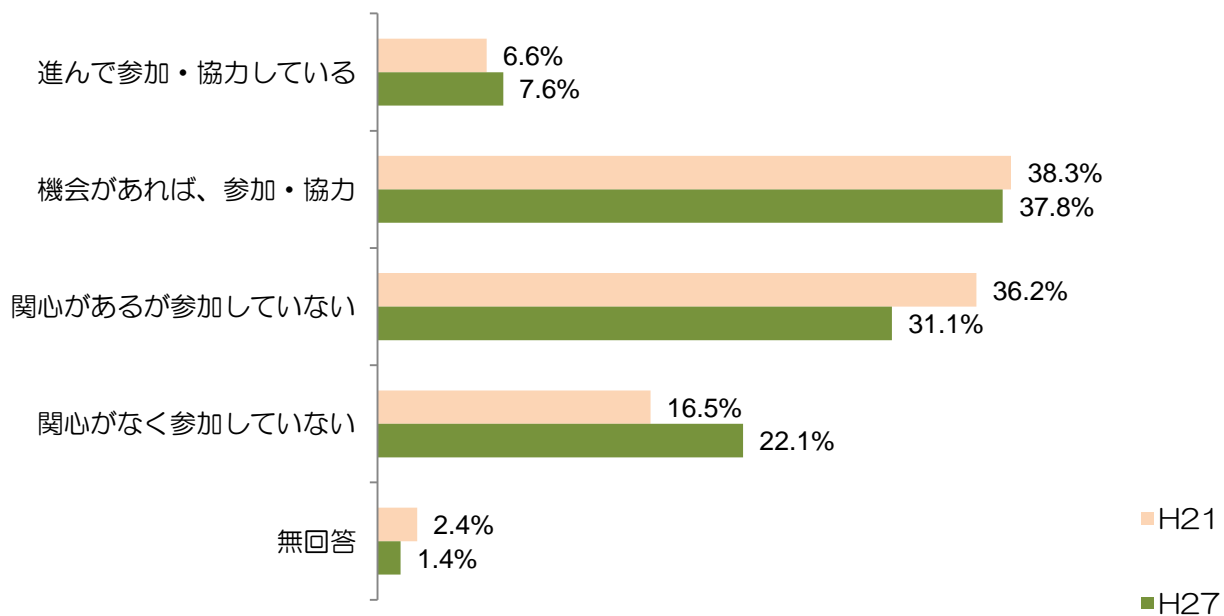
問2：問1で「4 ほとんど～」と回答された方に伺います。近所付き合いがない理由は、次のうちどれですか。（1つ選ぶ）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	仕事や家事や育児等で忙しい	10	16.1%	14	16.1%
2	現在の地域に住み始めて間もない	6	9.7%	16	18.4%
3	気の合う人、話の合う人が近くにいない	6	9.7%	9	10.4%
4	近所付き合いをしたいが、きっかけがない	12	19.4%	17	19.5%
5	あまり関わりを持ちたくない	24	38.7%	31	35.6%
6	無回答	4	6.4%	0	0.0%
合 計		62	100.0%	87	100.0%



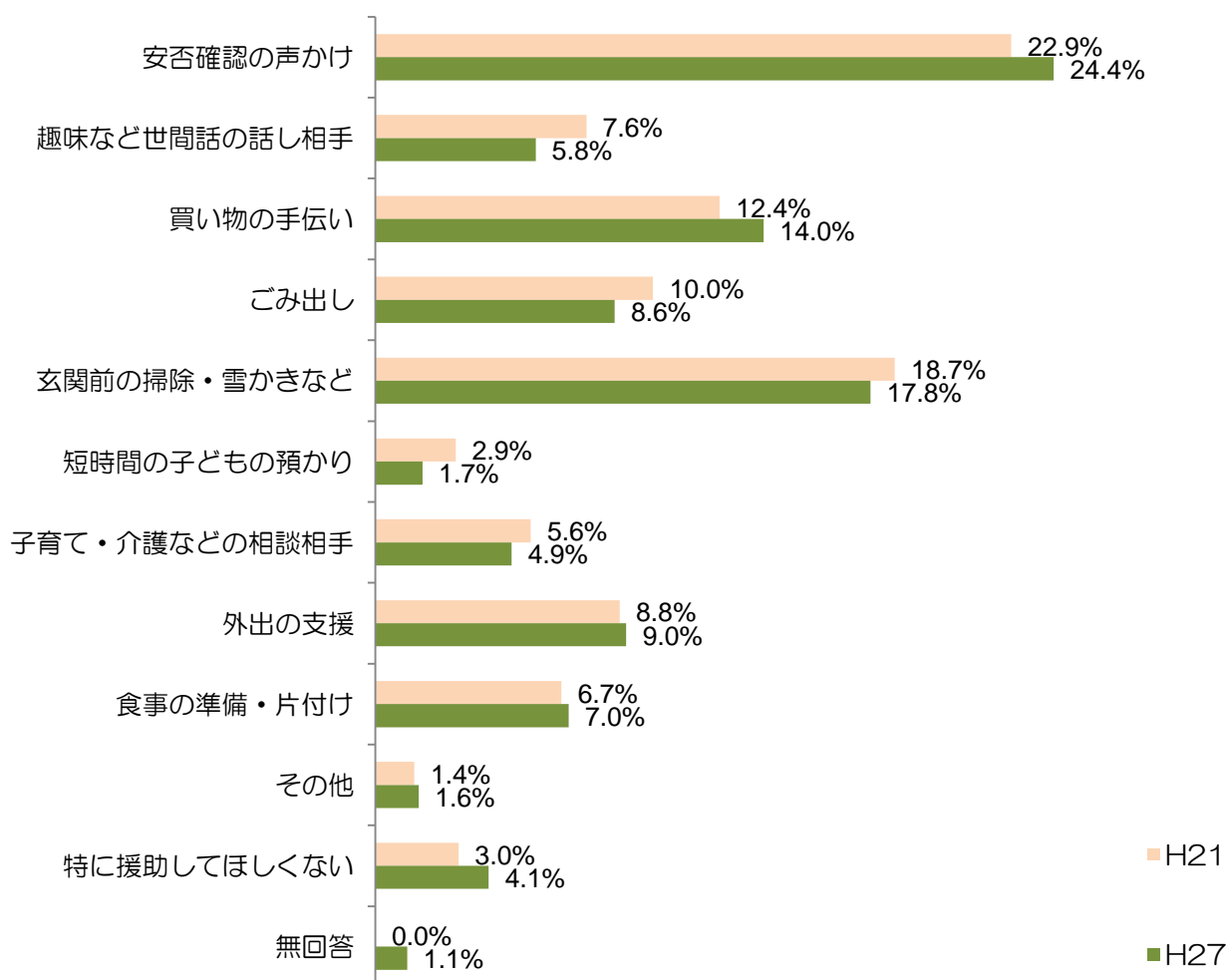
問3：あなたは、地域の行事や活動にどのように参加していますか。（1つ選ぶ）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	進んで参加・協力している	53	6.6%	74	7.6%
2	機会があれば、参加・協力	306	38.3%	373	37.8%
3	関心があるが参加していない	290	36.2%	307	31.1%
4	関心がなく参加していない	132	16.5%	218	22.1%
5	無回答	19	2.4%	14	1.4%
合 計		800	100.0%	986	100.0%



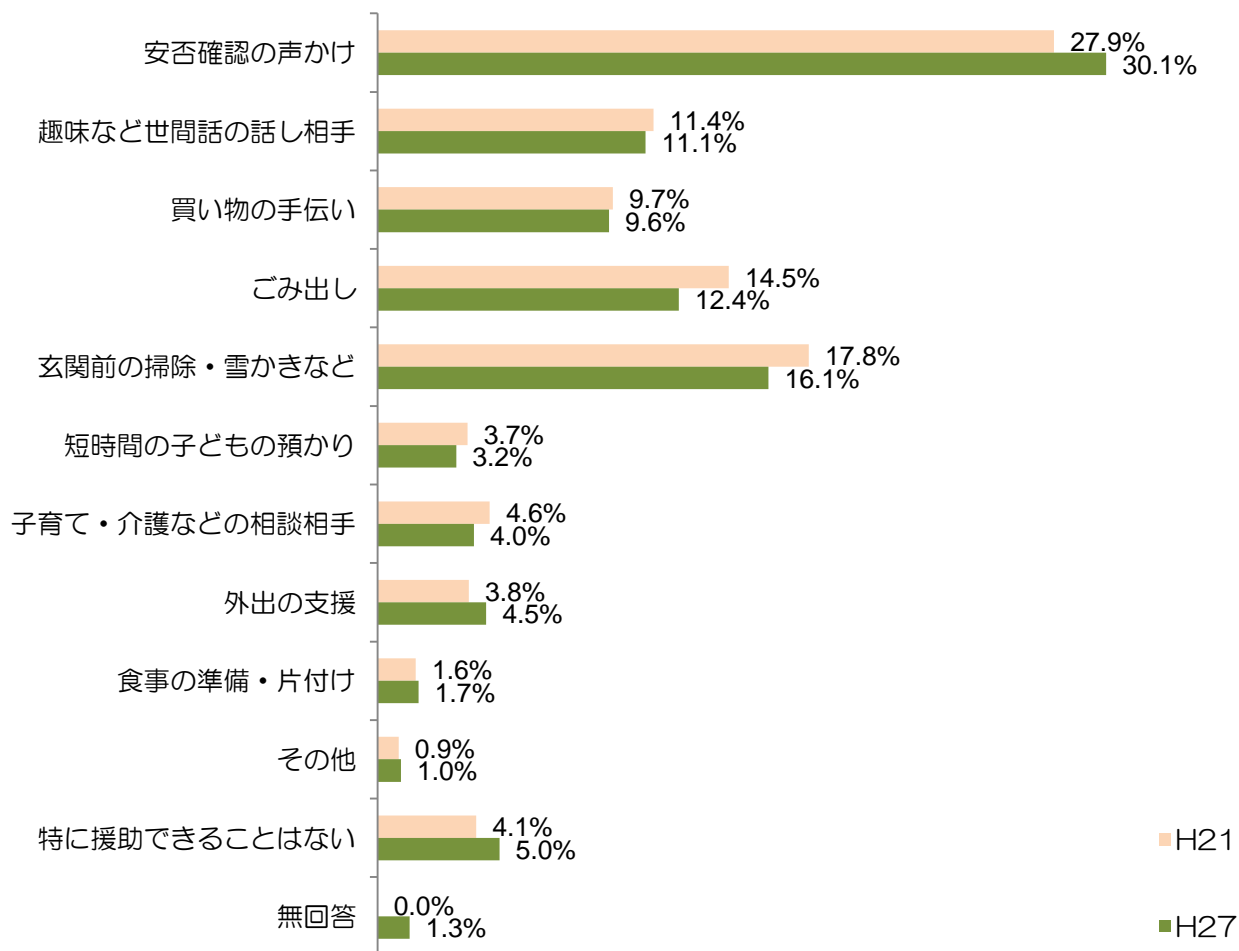
問4：あなたは、日常生活が不自由になったとき（高齢・病気・ケガなど）、地域でどのような援助をしてほしいと思いますか。（3つまで）

選択肢	H21		H27	
	回答数	全体比	回答数	全体比
1 安否確認の声かけ	436	22.9%	533	24.4%
2 趣味など世間話の話し相手	146	7.6%	126	5.8%
3 買い物の手伝い	237	12.4%	305	14.0%
4 ごみ出し	190	10.0%	188	8.6%
5 玄関前の掃除・雪かきなど	356	18.7%	389	17.8%
6 短時間の子どもの預かり	55	2.9%	37	1.7%
7 子育て・介護などの相談相手	106	5.6%	107	4.9%
8 外出の支援	168	8.8%	197	9.0%
9 食事の準備・片付け	127	6.7%	152	7.0%
10 その他	27	1.4%	34	1.6%
11 特に援助してほしくない	57	3.0%	89	4.1%
12 無回答	0	0.0%	25	1.1%
合計	1,905	100.0%	2,182	100.0%



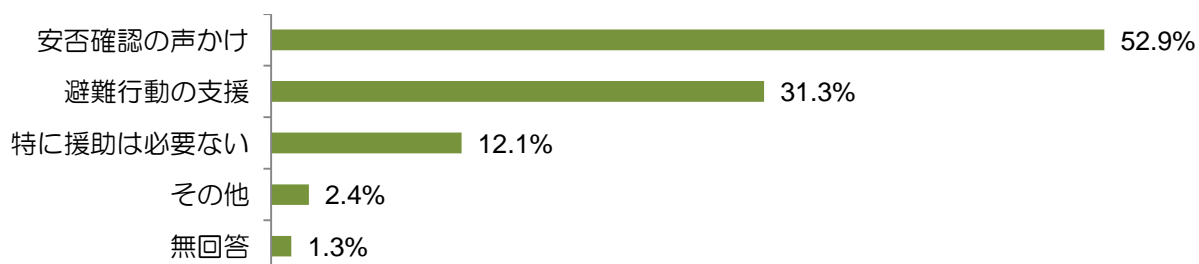
問5：地域の高齢者や障がい者、子育てなどで困っている人に対して、日常であなたが
できることはなんですか。（3つまで）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	安否確認の声かけ	549	27.9%	658	30.1%
2	趣味など世間話の話し相手	224	11.4%	242	11.1%
3	買い物の手伝い	191	9.7%	209	9.6%
4	ごみ出し	285	14.5%	272	12.4%
5	玄関前の掃除・雪かきなど	350	17.8%	353	16.1%
6	短時間の子どもの預かり	73	3.7%	71	3.2%
7	子育て・介護などの相談相手	91	4.6%	87	4.0%
8	外出の支援	74	3.8%	98	4.5%
9	食事の準備・片付け	31	1.6%	37	1.7%
10	その他	17	0.9%	21	1.0%
11	特に援助できることはない	80	4.1%	110	5.0%
12	無回答	0	0.0%	29	1.3%
合計		1,965	100.0%	2,187	100.0%



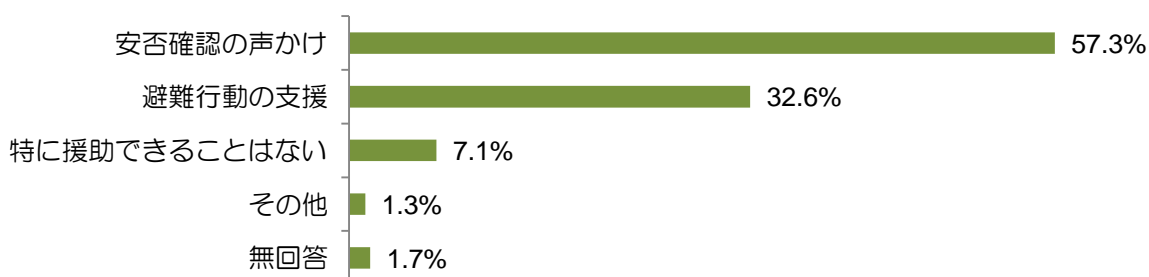
問6：地震や津波などの災害が発生した際に、どのような援助をしてほしいと思いますか。
（1つ選ぶ）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	安否確認の声かけ	設問なし		522	52.9%
2	避難行動の支援			309	31.3%
3	特に援助できることはない			119	12.1%
4	その他			23	2.4%
5	無回答			13	1.3%
合計				986	100.0%



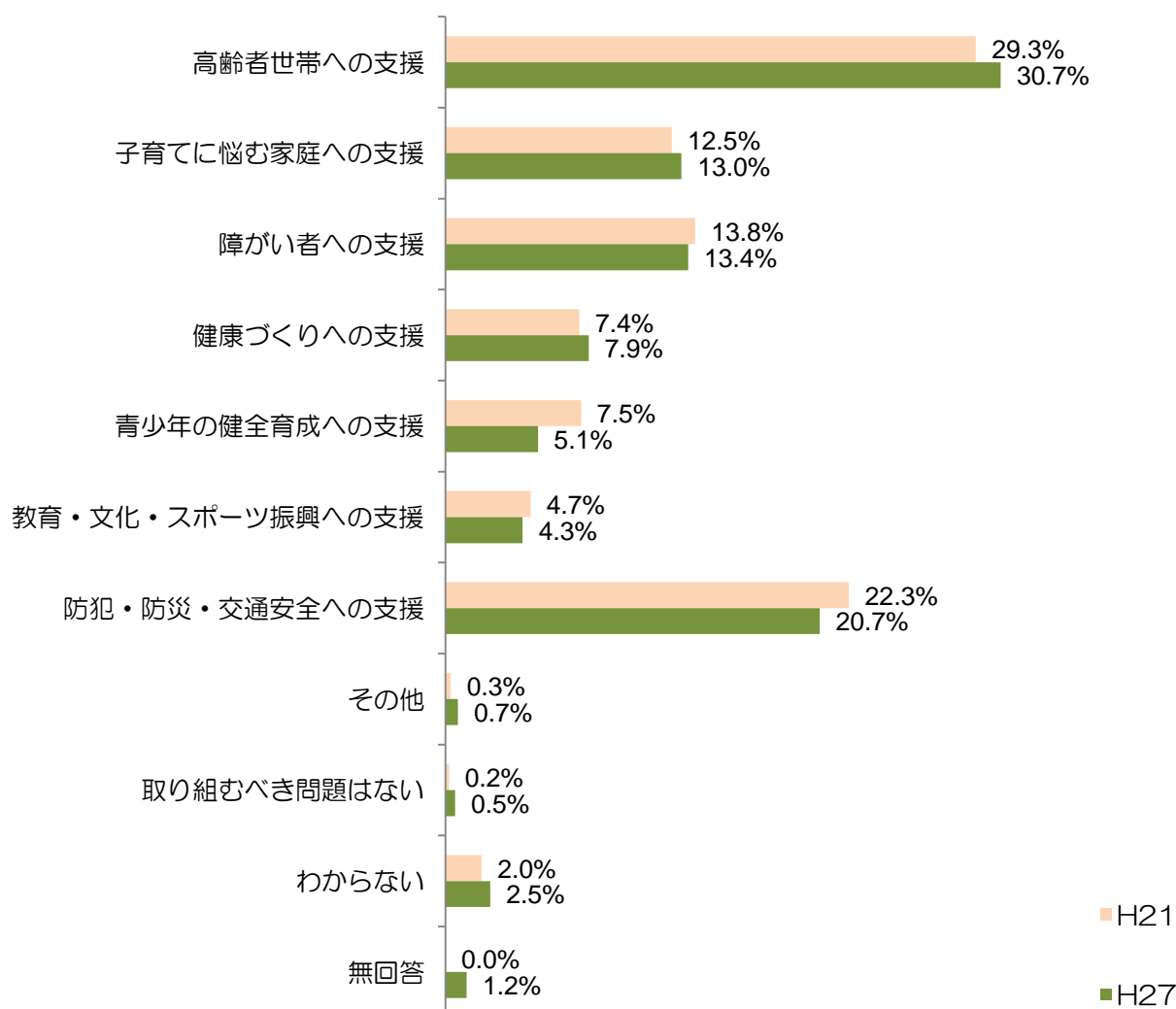
問7：地震や津波などの災害が発生した際に、隣近所の援助が必要な人に対して、あなたができることは何ですか。（1つ選ぶ）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	安否確認の声かけ	設問なし		565	57.3%
2	避難行動の支援			321	32.6%
3	特に援助できることはない			70	7.1%
4	その他			13	1.3%
5	無回答			17	1.7%
合計				986	100.0%



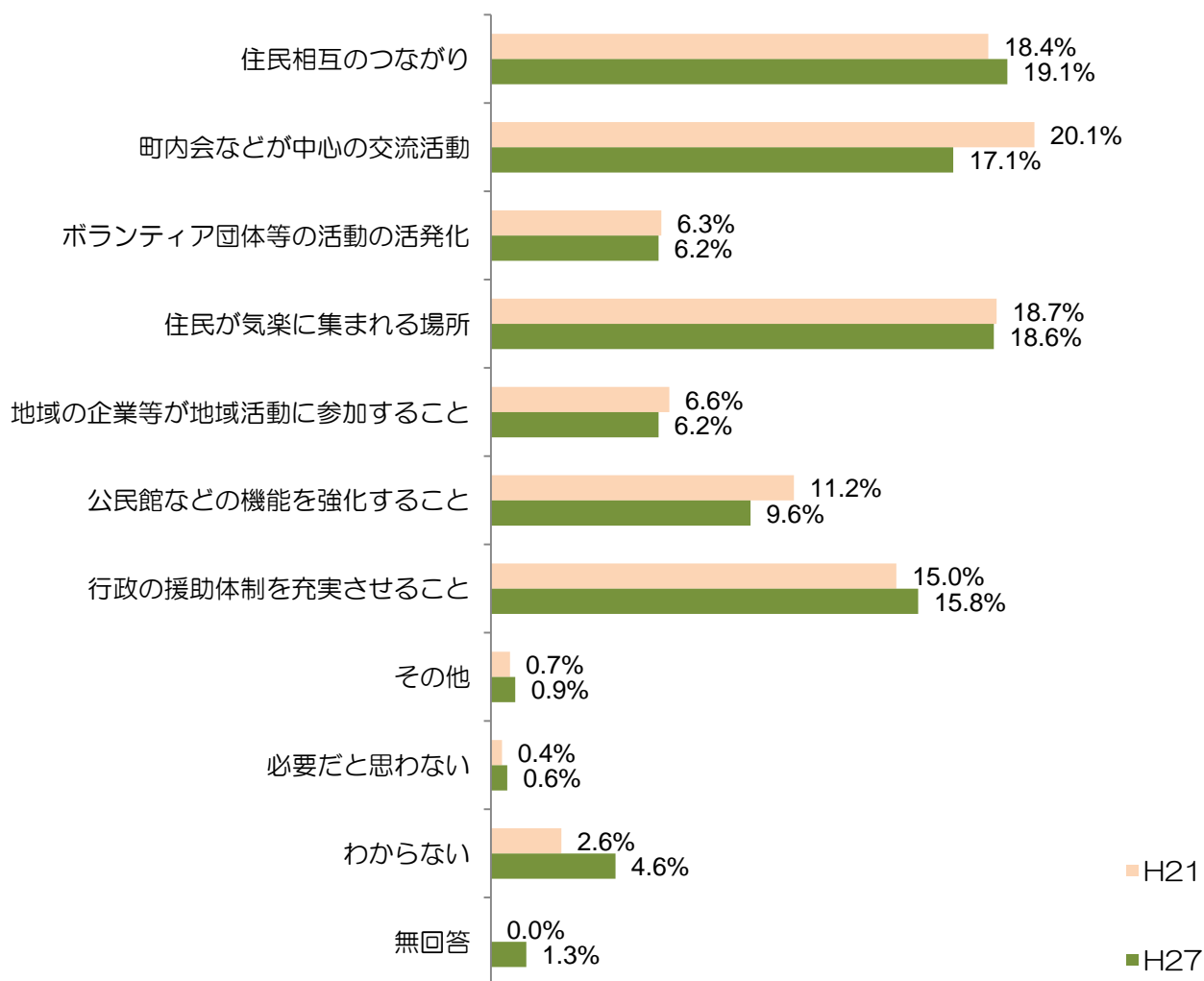
問8：次のうち、地域の人達が協力して取り組んでいくことが必要だと思うことはなんですか。（3つまで）

選択肢	H21		H27	
	回答数	全体比	回答数	全体比
1 高齢者世帯への支援	604	29.3%	755	30.7%
2 子育てに悩む家庭への支援	257	12.5%	321	13.0%
3 障がい者への支援	285	13.8%	330	13.4%
4 健康づくりへの支援	154	7.4%	195	7.9%
5 青少年の健全育成への支援	156	7.5%	126	5.1%
6 教育・文化・スポーツ振興への支援	97	4.7%	105	4.3%
7 防犯・防災・交通安全への支援	461	22.3%	509	20.7%
8 その他	7	0.3%	17	0.7%
9 取り組むべき問題はない	5	0.2%	13	0.5%
10 わからない	42	2.0%	61	2.5%
11 無回答	0	0.0%	29	1.2%
合計	2,068	100.0%	2,461	100.0%



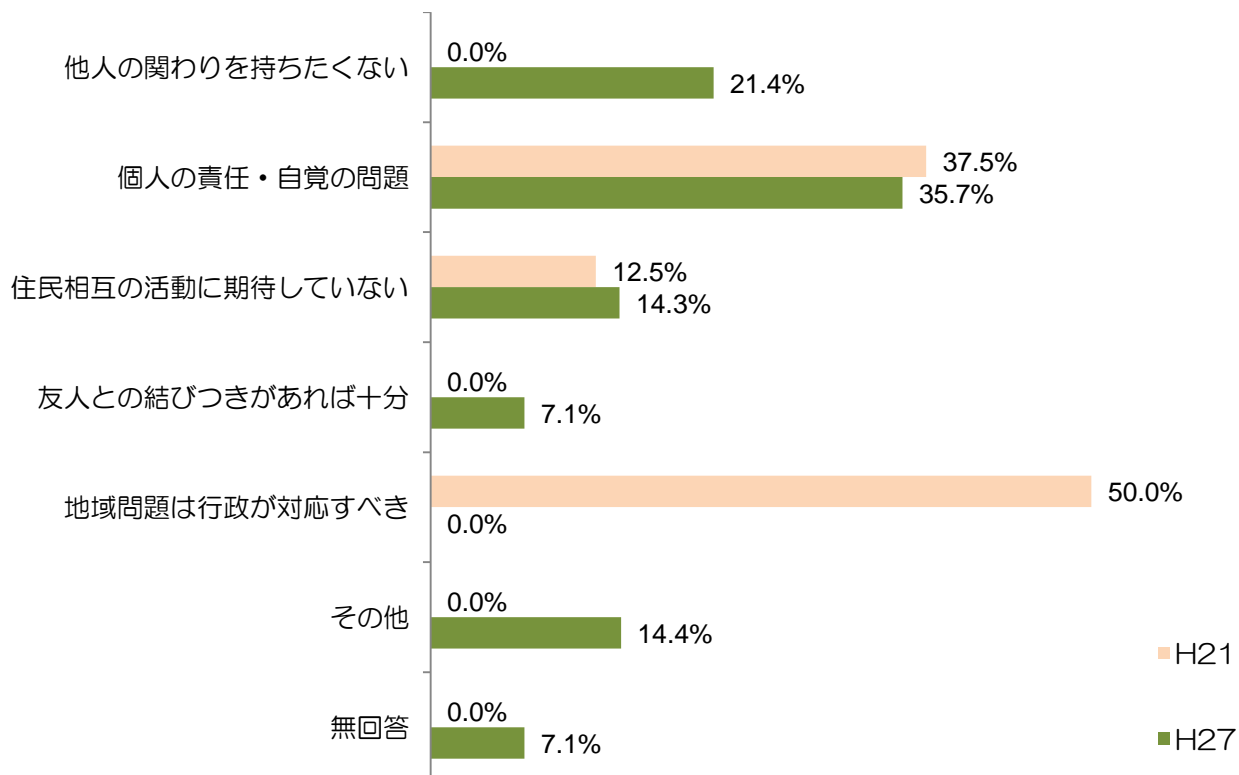
問9：地域社会の問題に対して、住民がお互いに協力していくためには、どんなことが必要だと考えますか。（3つまで）

選択肢	H21		H27	
	回答数	全体比	回答数	全体比
1 住民相互のつながり	354	18.4%	427	19.1%
2 町内会などが中心の交流活動	385	20.1%	381	17.1%
3 ボランティア団体等の活動の活発化	121	6.3%	137	6.2%
4 住民が気楽に集まれる場所を作ること	358	18.7%	414	18.6%
5 地域の企業等が地域活動に参加すること	126	6.6%	139	6.2%
6 公民館などの機能を強化すること	214	11.2%	213	9.6%
7 行政の援助体制を充実させること	287	15.0%	352	15.8%
8 その他	13	0.7%	19	0.9%
9 必要だと思わない	8	0.4%	14	0.6%
10 わからない	49	2.6%	102	4.6%
11 無回答	0	0.0%	29	1.3%
合計	1,915	100.0%	2,227	100.0%



問10：問9で「9 必要だと思わない」と回答された方に伺います。必要ないと思う理由はなんですか。（1つ選ぶ）

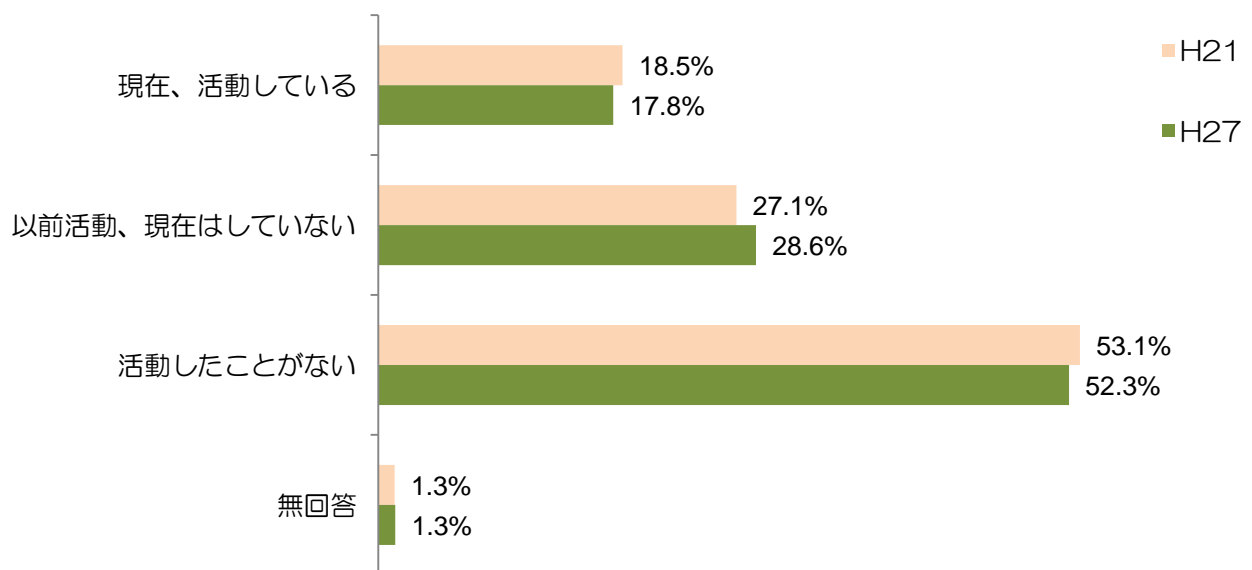
選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	他人の関わりを持ちたくない	0	0.0%	3	21.4%
2	個人の責任・自覚の問題	3	37.5%	5	35.7%
3	住民相互の活動に期待していない	1	12.5%	2	14.3%
4	友人との結びつきがあれば十分	0	0.0%	1	7.1%
5	地域問題は行政が対応すべき	4	50.0%	0	0.0%
6	その他	0	0.0%	2	14.4%
7	無回答	0	0.0%	1	7.1%
合 計		8	100.0%	14	100.0%



3) 地域活動やボランティア活動について

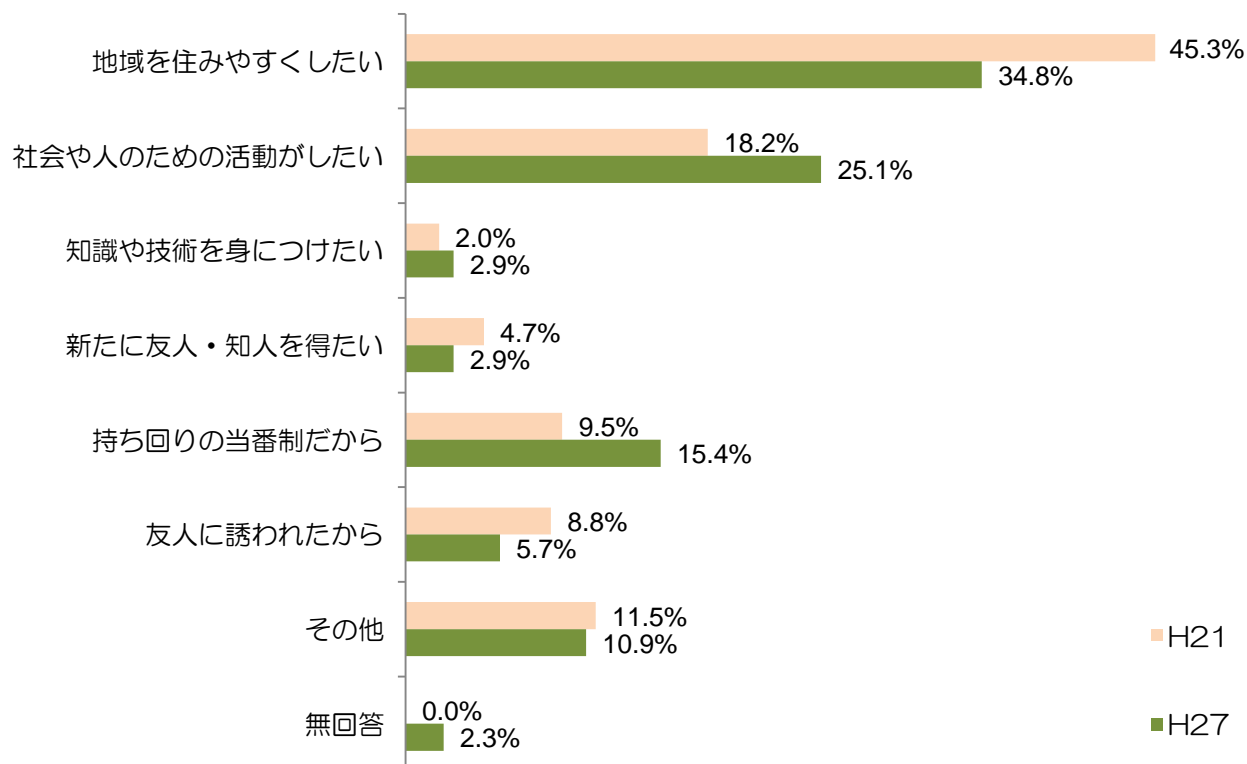
問11：あなたは、これまでに地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。
(1つ選ぶ)

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	現在、活動している	148	18.5%	175	17.8%
2	以前活動、現在はしていない	217	27.1%	282	28.6%
3	活動したことがない	425	53.1%	516	52.3%
4	無回答	10	1.3%	13	1.3%
合計		800	100.0%	986	100.0%



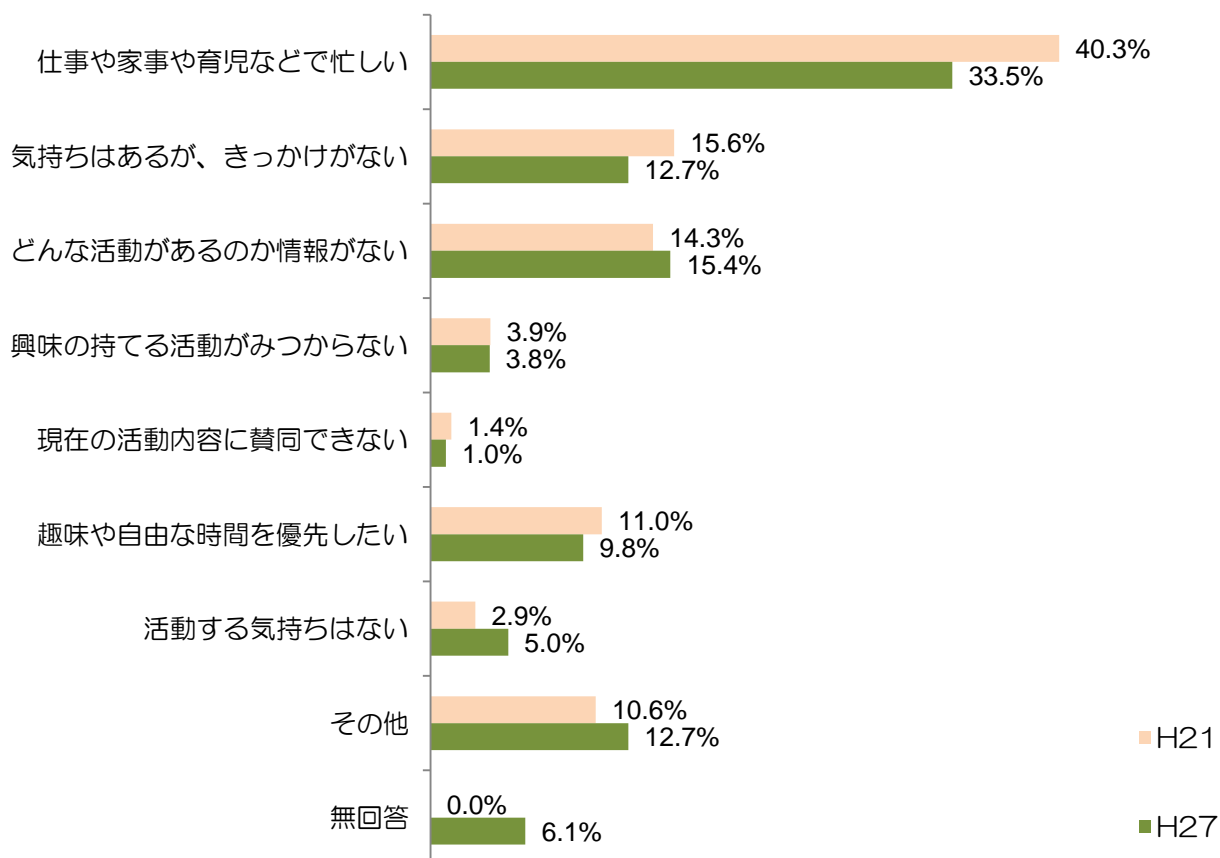
問12：問11で「1 現在、活動している」と回答された方に伺います。活動のきっかけはどのような理由ですか。（1つ選ぶ）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	地域を住みやすくしたい	67	45.3%	61	34.8%
2	社会や人のための活動がしたい	27	18.2%	44	25.1%
3	知識や技術を身につけたい	3	2.0%	5	2.9%
4	新たに友人・知人を得たい	7	4.7%	5	2.9%
5	持ち回りの当番制だから	14	9.5%	27	15.4%
6	友人に誘われたから	13	8.8%	10	5.7%
7	その他	17	11.5%	19	10.9%
8	無回答	0	0.0%	4	2.3%
合計		148	100.0%	175	100.0%



問13：問11で「2 以前～」または「3 活動したことがない」と回答された方に伺います。その理由はなんですか。（1つ選ぶ）

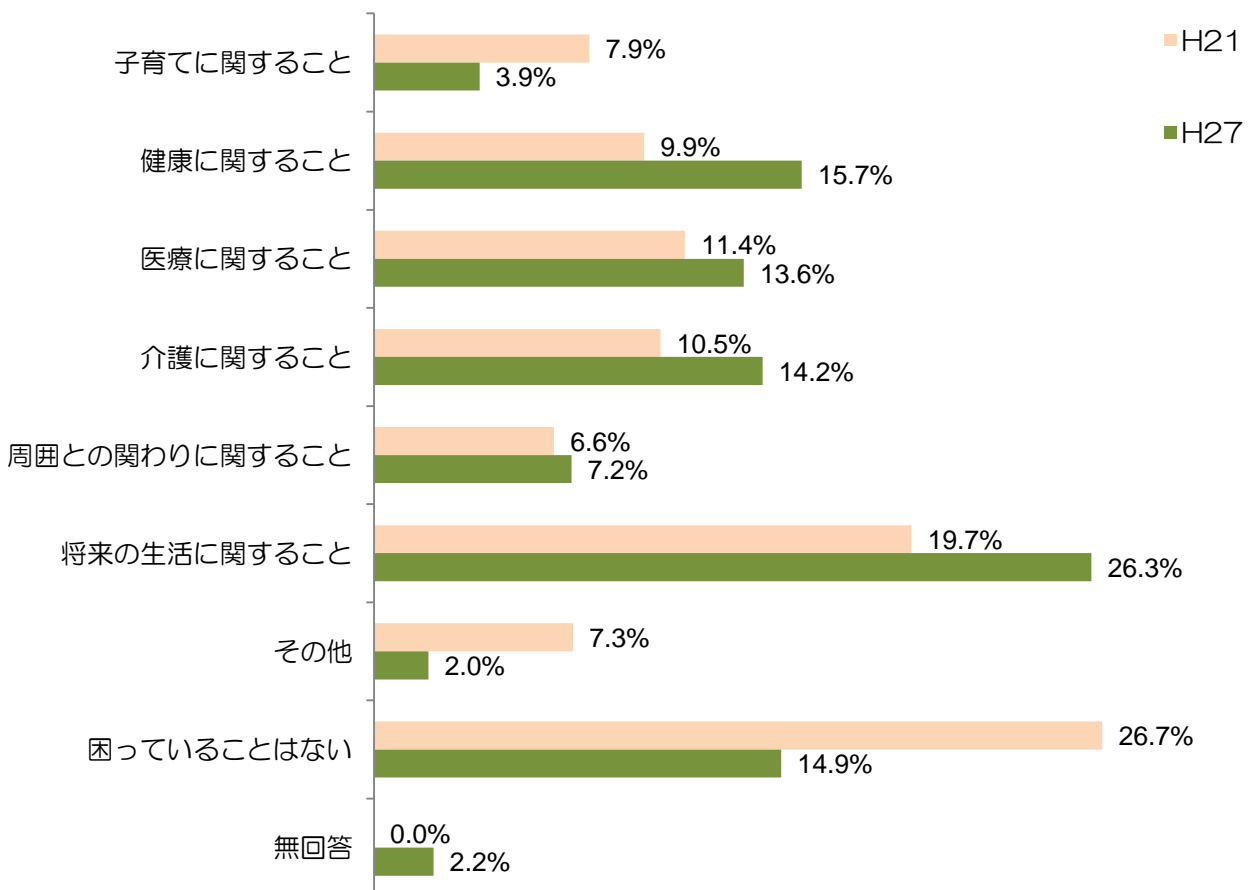
選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	仕事や家事や育児などで忙しい	209	40.3%	268	33.5%
2	気持ちはあるが、きっかけがない	81	15.6%	101	12.7%
3	どんな活動があるのか情報がない	74	14.3%	123	15.4%
4	興味の持てる活動が見つからない	20	3.9%	30	3.8%
5	現在の活動内容に賛同できない	7	1.4%	8	1.0%
6	趣味や自由な時間を優先したい	57	11.0%	78	9.8%
7	活動する気持ちはない	15	2.9%	40	5.0%
8	その他	55	10.6%	101	12.7%
9	無回答	0	0.0%	49	6.1%
合計		518	100.0%	798	100.0%



4) 福祉政策全般について

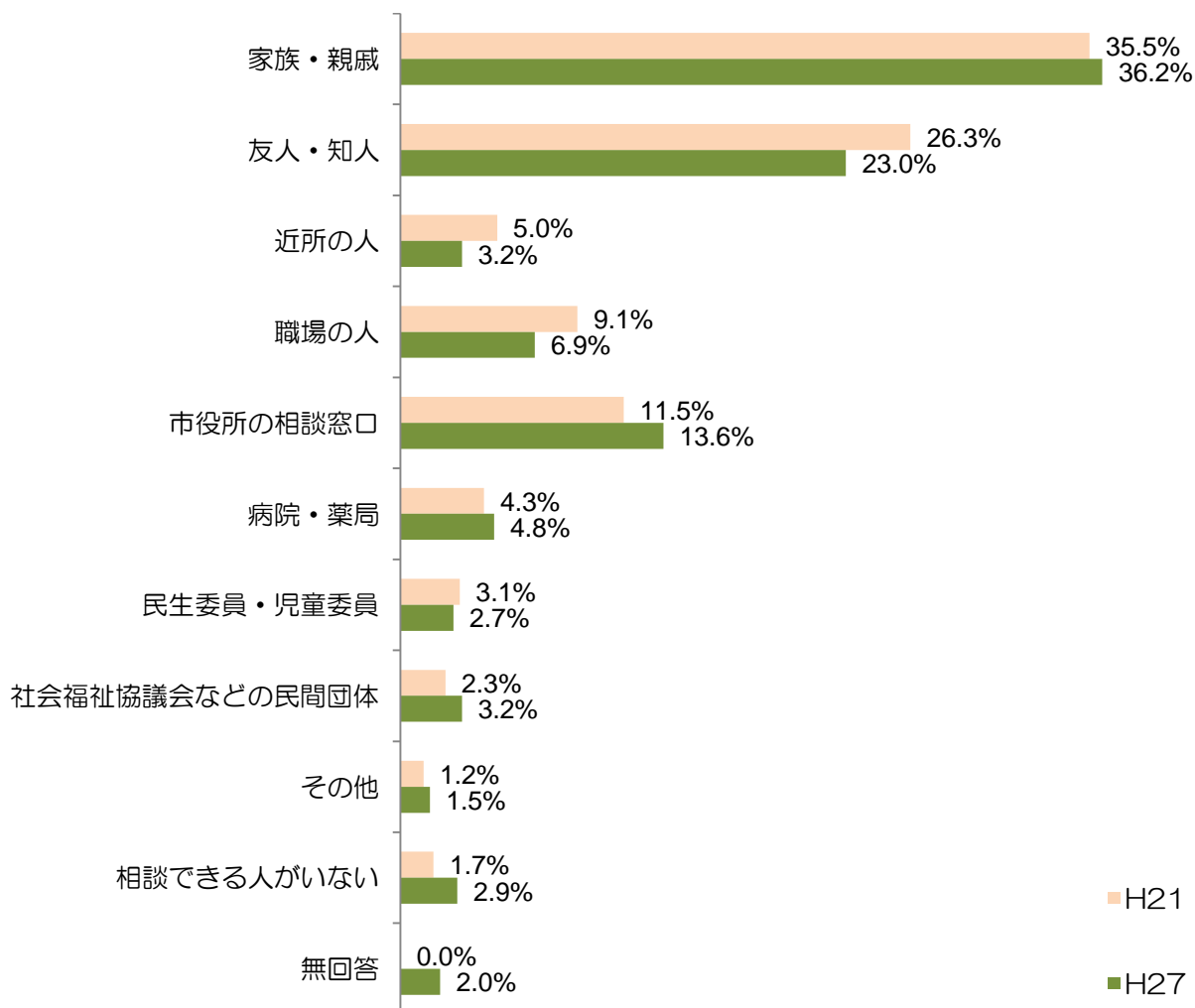
問14：あなたは、ふだん暮らしている中で、以下に関することで困っていることがありますか。(あてはまるもの全て)

選択肢	H21		H27	
	回答数	全体比	回答数	全体比
1 子育てに関すること	68	7.9%	62	3.9%
2 健康に関すること	84	9.9%	251	15.7%
3 医療に関すること	97	11.4%	217	13.6%
4 介護に関すること	89	10.5%	228	14.2%
5 周囲との関わりに関すること	56	6.6%	116	7.2%
6 将来の生活に関すること	168	19.7%	421	26.3%
7 その他	62	7.3%	32	2.0%
8 困っていることはない	227	26.7%	239	14.9%
9 無回答	0	0.0%	35	2.2%
合計	851	100.0%	1,601	100.0%



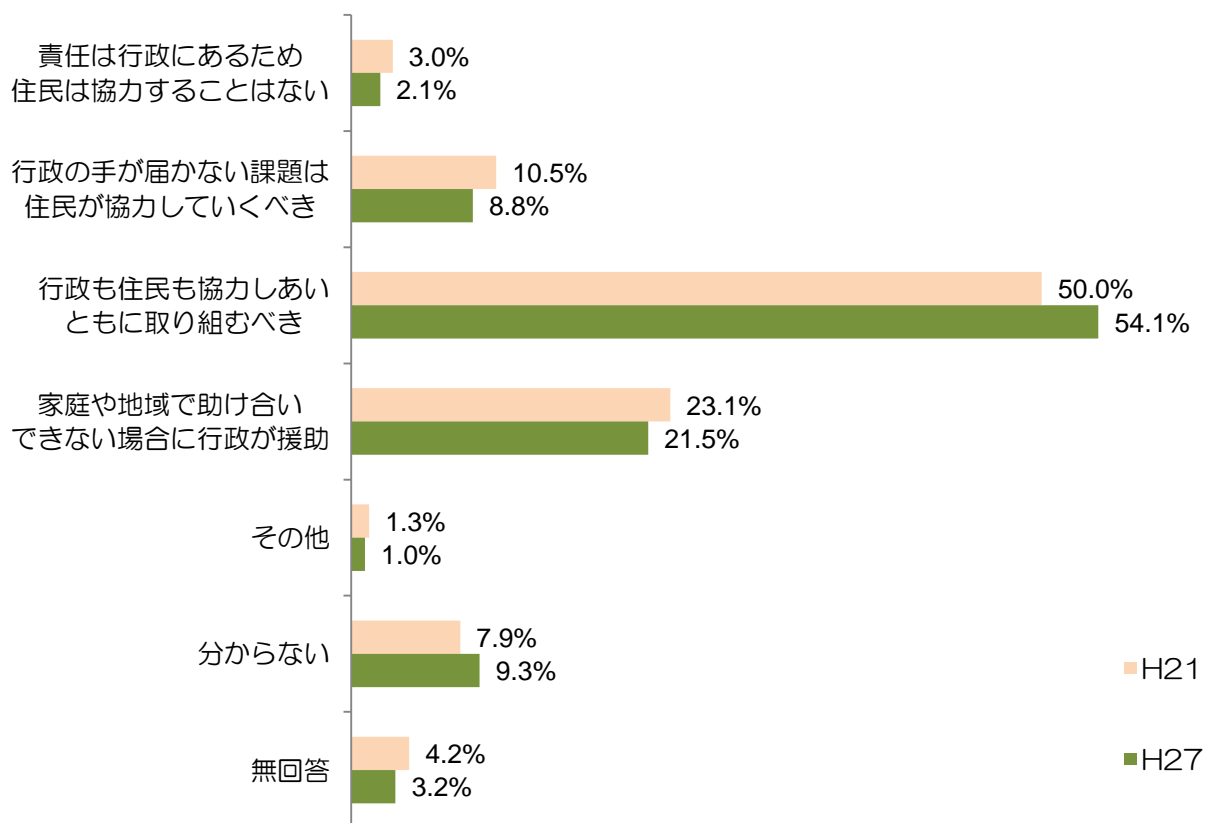
問15：あなたは、ふだん暮らしている中で困っていること（生活課題）を、誰に相談したいと思いますか。（3つまで）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	家族・親戚	627	35.5%	742	36.2%
2	友人・知人	464	26.3%	471	23.0%
3	近所の人	88	5.0%	65	3.2%
4	職場の人	161	9.1%	142	6.9%
5	市役所の相談窓口	203	11.5%	278	13.6%
6	病院・薬局	76	4.3%	99	4.8%
7	民生委員・児童委員	54	3.1%	56	2.7%
8	社会福祉協議会などの民間団体	41	2.3%	65	3.2%
9	その他	21	1.2%	31	1.5%
10	相談できる人がいない	30	1.7%	60	2.9%
11	無回答	0	0.0%	42	2.0%
合計		1,765	100.0%	2,051	100.0%



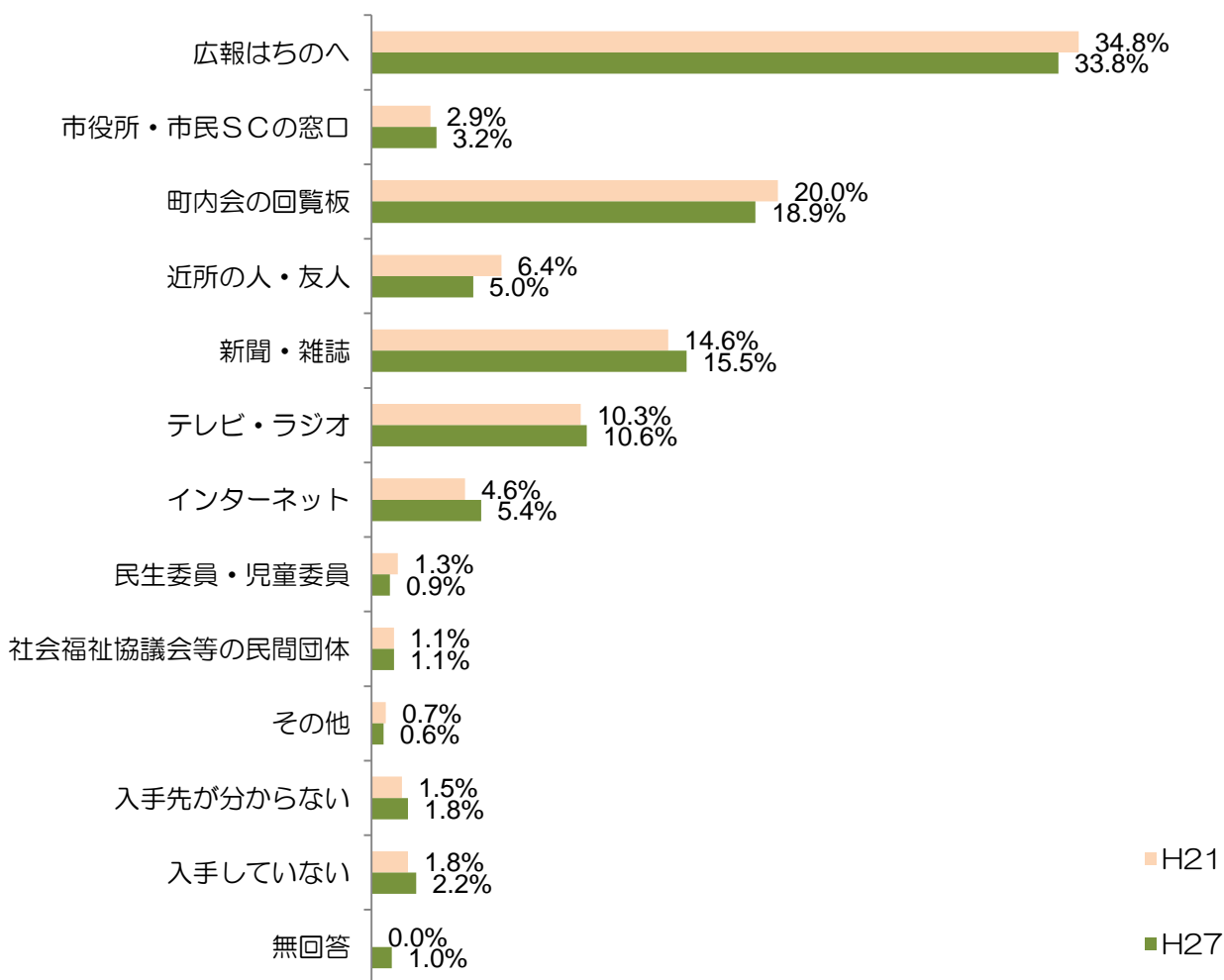
問16：ふだん暮らしている中で生活課題を解決するためには、行政と地域住民の関係は
どうあるべきだと思いますか。（1つ選ぶ）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	責任は行政にあるため 住民は協力することはない	24	3.0%	21	2.1%
2	行政の手が届かない課題は 住民が協力していくべき	84	10.5%	87	8.8%
3	行政も住民も協力しあい ともに取り組むべき	400	50.0%	533	54.1%
4	家庭や地域で助け合い できない場合に行政が援助	185	23.1%	212	21.5%
5	その他	10	1.3%	10	1.0%
6	分からない	63	7.9%	92	9.3%
7	無回答	34	4.2%	31	3.2%
合 計		800	100.0%	986	100.0%



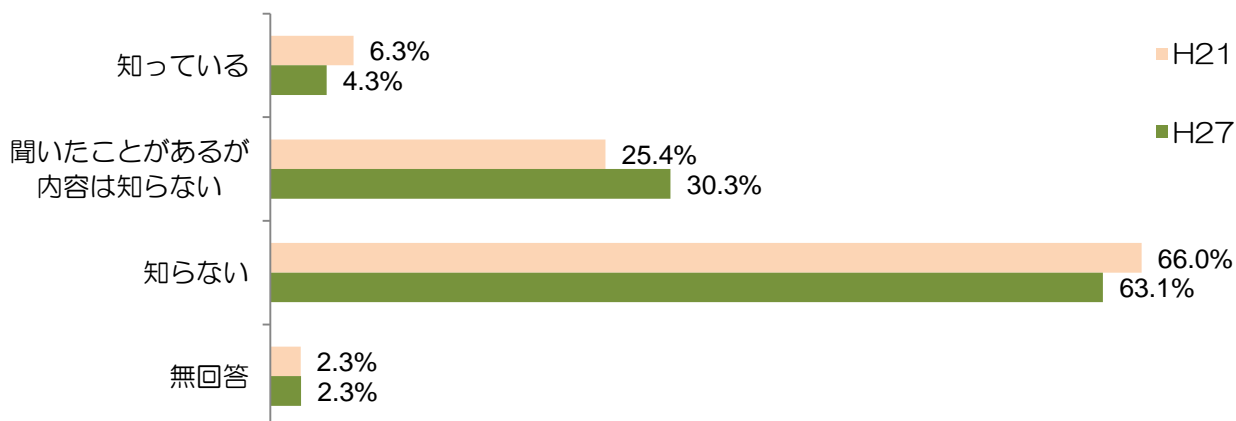
問17：市の保健や福祉に関する情報を、どのような方法で入手していますか。（あてはまるもの全て）

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	広報はちのへ	676	34.8%	818	33.8%
2	市役所・市民SCの窓口	57	2.9%	77	3.2%
3	町内会の回覧板	388	20.0%	459	18.9%
4	近所の人・友人	124	6.4%	122	5.0%
5	新聞・雑誌	283	14.6%	375	15.5%
6	テレビ・ラジオ	200	10.3%	258	10.6%
7	インターネット	89	4.6%	132	5.4%
8	民生委員・児童委員	25	1.3%	21	0.9%
9	社会福祉協議会等の民間団体	21	1.1%	27	1.1%
10	その他	13	0.7%	15	0.6%
11	入手先が分からない	30	1.5%	44	1.8%
12	入手していない	37	1.8%	50	2.2%
13	無回答	0	0.0%	25	1.0%
合 計		1,943	100.0%	2,423	100.0%



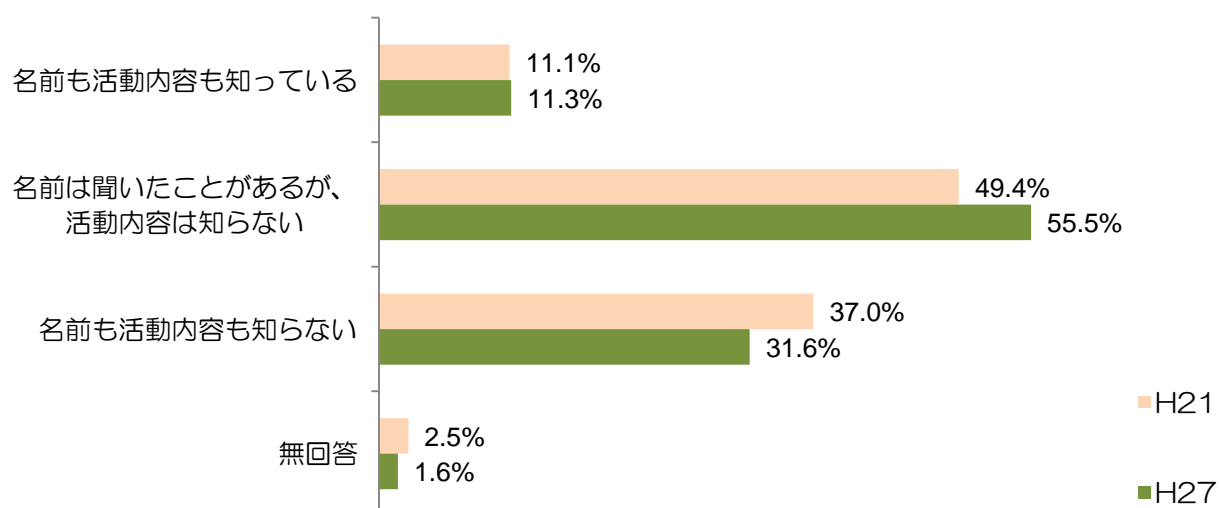
問18：あなたは「八戸市地域福祉計画」を知っていますか。

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	知っている	50	6.3%	42	4.3%
2	聞いたことがあるが内容は知らない	203	25.4%	299	30.3%
3	知らない	528	66.0%	622	63.1%
4	無回答	19	2.3%	23	2.3%
合計		800	100.0%	986	100.0%



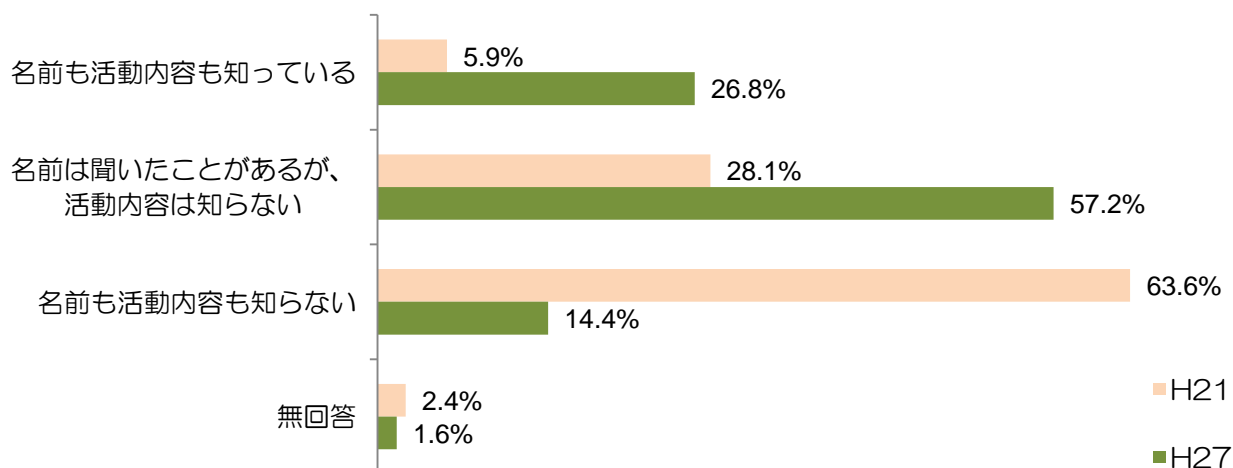
問19：あなたは、地域福祉の推進を目的として活動している「八戸市社会福祉協議会」を知っていますか。

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	名前も活動内容も知っている	89	11.1%	111	11.3%
2	名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない	395	49.4%	547	55.5%
3	名前も活動内容も知らない	296	37.0%	311	31.6%
4	無回答	20	2.5%	17	1.6%
合計		800	100.0%	986	100.0%



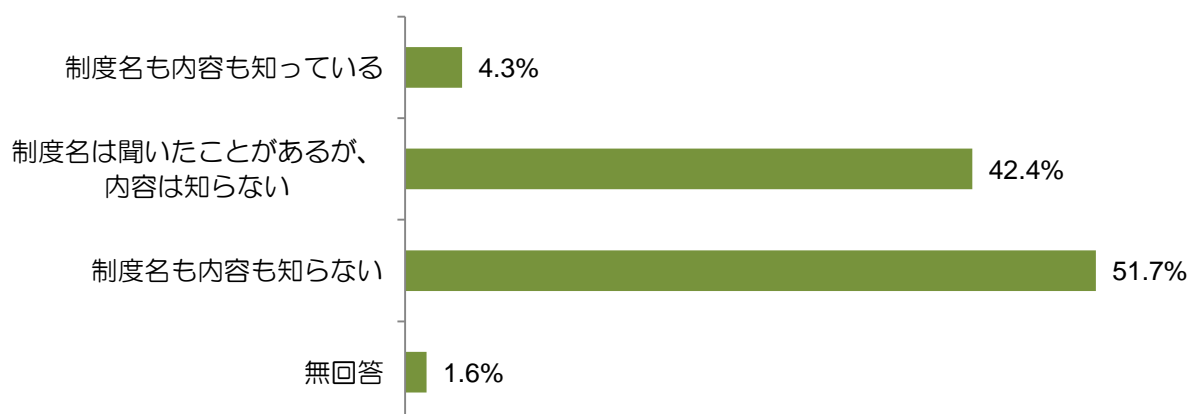
問20：あなたは、社会奉仕の精神をもって、住民からの相談受付や援助活動をしている「民生委員・児童委員」を知っていますか。

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	名前も活動内容も知っている	47	5.9%	264	26.8%
2	名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない	225	28.1%	563	57.2%
3	名前も活動内容も知らない	509	63.6%	142	14.4%
4	無回答	19	2.4%	17	1.6%
合 計		800	100.0%	986	100.0%



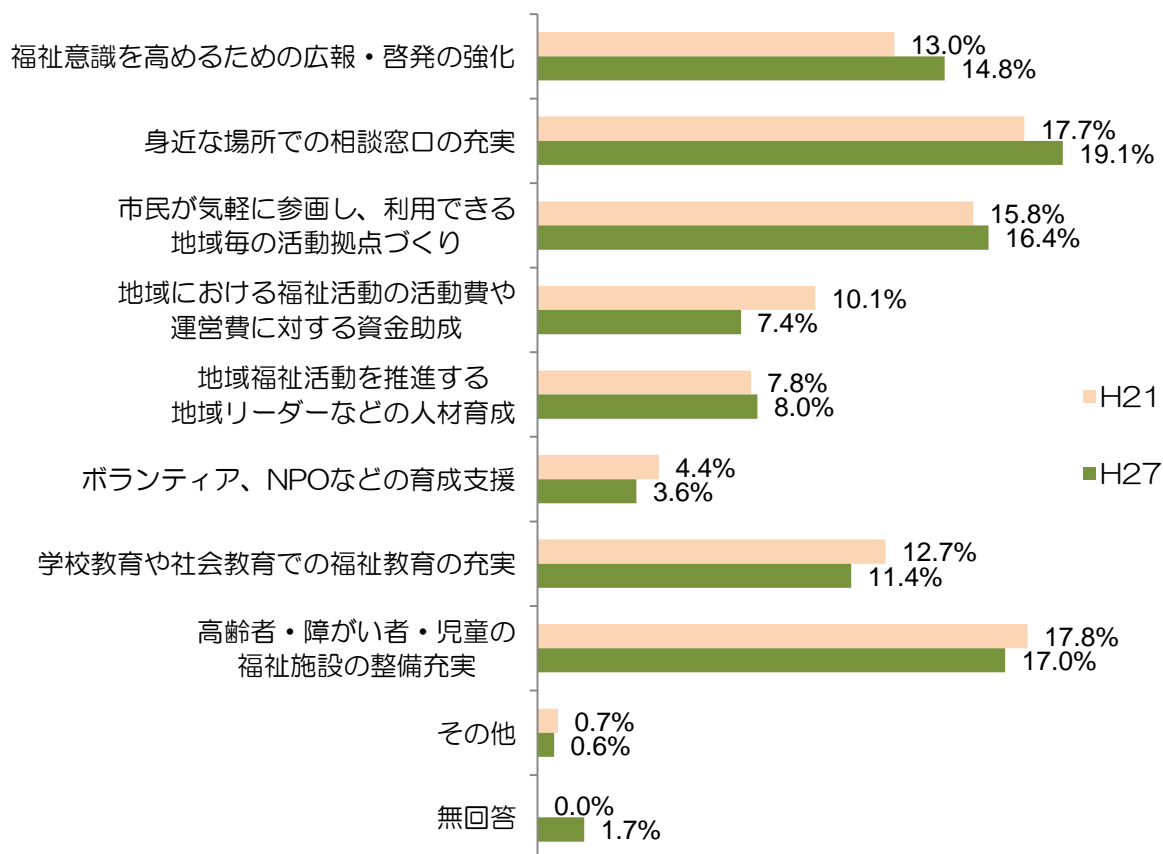
問21：仕事や生活に困っている方を支援するため、平成27年4月から「生活困窮者自立支援制度」が全国的に開始されました。あなたは、その内容を知っていますか。

選択肢		H21		H27	
		回答数	全体比	回答数	全体比
1	制度名も内容も知っている	設問なし		42	4.3%
2	制度名は聞いたことがあるが、内容は知らない			418	42.4%
3	制度名も内容も知らない			509	51.7%
4	無回答			17	1.6%
合 計				986	100.0%



問22：今後、地域福祉を推進していくためには、行政の役割として、どのようなことが重要だと思いますか。（3つまで）

選択肢	H21		H27	
	回答数	全体比	回答数	全体比
1 福祉意識を高めるための広報・啓発の強化	244	13.0%	346	14.8%
2 身近な場所での相談窓口の充実	333	17.7%	446	19.1%
3 市民が気軽に参画し、利用できる地域毎の活動拠点づくり	298	15.8%	383	16.4%
4 地域における福祉活動の活動費や運営費に対する資金助成	190	10.1%	172	7.4%
5 地域福祉活動を推進する地域リーダーなどの人材育成	146	7.8%	186	8.0%
6 ボランティア、NPOなどの育成支援	83	4.4%	84	3.6%
7 学校教育や社会教育での福祉教育の充実	238	12.7%	267	11.4%
8 高齢者・障がい者・児童の福祉施設の整備充実	335	17.8%	397	17.0%
9 その他	14	0.7%	17	0.6%
10 無回答	0	0.0%	41	1.7%
合計	1,881	100.0%	2,339	100.0%



問23：今後、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、福祉サービスのあり方、地域福祉の進め方、保健・福祉行政への提言など、日頃皆様が考えていることを自由にご記入ください。（自由記述）

※ご回答の中から、一部抜粋して掲載しています。

- 地域の人々と行政が一体となって取り組む必要がある。地域の人に地域福祉に関する情報を伝え、関心を高めるよう努力していただきたい。
- 一人暮らしの人が増えているとのこと。肩肘張らずに、のんびりお茶でも飲めるような、出かけるきっかけになる場所があったら良いと思ったりします。
- 地域の高齢者と子どもがふれ合える場所が少なすぎる。
- どんな相談にでも、ここへ行って相談すれば大丈夫という場所（窓口）が、自分の地域にあってほしいと思う。
- 災害時などに、一人暮らしの方を避難させるときの協力体制作りのため、対象者の把握などがしやすいように、町内会での情報共有が必要。
- 普段から福祉サービスや地域福祉のありがたさなどの啓蒙活動が必要だが、やはり最後の砦は、近所の助け合いの負うところが多い。日ごろから町内会活動や近所の人々の目が役に立つ。そのような活動に行政が支援する型が望ましい。
- 他から居住してきた人が、安心して暮らせる街にしてほしい。医療機関を紹介してくれる窓口や、地域の行事がわかりやすく、誰でも参加しやすい案内をしてもらえるとうれしいです。
- 子育てや介護をしても、会社の理解を得られず、勤務時間や休み等、自由がきかない場合が多いように感じる。地域の企業、経営者の理解、協力があれば助かる。
- 高齢者にわかりやすく、内容も充実した相談窓口が身近にあれば良いと思います。

- 障がい児や障がい者が楽しく働ける職場、職場環境がないです。もっと障がい者をよく理解してもらえる環境整備が必要だと思います。
- 小さいうちから学校教育で、高齢者施設の訪問などでのボランティア活動を通じ、奉仕の精神を育てる教育をした方がよいと思う。
- ”心”を大事にする福祉も考えていただきたいです。
- 高齢者がもっと元気、健康であるために早い時期から努力する。お互いにもっと近所の方々とは勿論、町内活動もできるだけ出席し、信頼関係を保つことが大事ではないでしょうか。
- まずは、となり近所のつき合いをしていくこと。そして、信頼関係を少しずつ重ねていくこと。それから地域を広めていく。自らの周りから、まちづくりは始まっていると考える。
- 今は仕事がありますので時間的制約はあると思いますが、ボランティア活動には興味（関心）があります。きっかけがないまま過ごしているのが現状です。
- 今時の若者（10～20代）は活動等を知って理解すれば、協力的で思いやりがある子が多い気がしますよ。もっと若い世代にアピールしてみれば良いのでは？
- 誰もが安心して暮らせるようにするためには、一人一人ができるだけ地域活動等に参加すること。そうして横のつながりを増やしていけば、何か困ったことがあった時に、お互い助け合ったりすることができるのではないのでしょうか。あいさつ程度でも、近所付き合いは大切だと思います。

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

■第3期八戸市地域福祉計画策定の経過

年 月 日	内 容
平成27年5～6月	アンケート調査（市民1,900人、市政エター100人へ送付）
平成27年10月26日	八戸市健康福祉審議会 第2回社会福祉部会開催
平成27年11月30日	八戸市健康福祉審議会 第3回社会福祉部会開催
平成27年12月14日	八戸市健康福祉審議会 第4回社会福祉部会開催
平成28年1月8日 ～平成28年2月8日	パブリックコメントの実施
平成28年3月3日	第1回八戸市健康福祉審議会開催

■八戸市健康福祉審議会 社会福祉部会 委員名簿

任期：平成25年6月26日～平成28年6月25日

区 分	団 体 ・ 役 職	氏 名
学 識 経 験 者	八戸市議会	坂本 美洋
	八戸学院大学人間健康学部 教授	関川 幸子
	八戸市小学校長会	四戸 慶子
	東奥日報社 八戸支社 編集部長	舘花 光秀
福 祉 関 係 者	八戸市社会福祉協議会 事務局長	浮木 隆
	青森県栄養士会八戸地区会 運営委員長	伊藤 恵美子
	八戸市身体障害者団体連合会 会長	東山 国男
地 域 支 援 関 係 者	八戸市民生委員児童委員協議会 会長	高 淵 壽 男
	八戸市老人クラブ連合会 常務理事兼事務局長	新 坂 恒 雄
	公募	熊 谷 満 美 子

合計 10人

八戸市健康福祉審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、八戸市健康と福祉のまちづくり条例(平成19年八戸市条例第11号)第32条第7項の規定に基づき、八戸市健康福祉審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(委員の任期)

第2条 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。ただし、この規則の施行後最初に招集すべき審議会又は新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき審議会の会長の職務は、市長が行う。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第5条 審議会に、健康福祉施策に関する専門の事項を調査審議するため、部会を置く。

2 部会の名称は、次のとおりとする。

(1) 健康・保健部会

(2) 介護・高齢福祉部会

(3) 障がい福祉部会

(4) 社会福祉部会

3 審議会は、前項に掲げるもののほか、必要に応じて部会を置くことができる。

4 部会は、審議会の会長が指名した委員(次条第1項の規定により専門委員が置かれた場合にあつては、当該専門委員を含む。以下この条及び第7条において同じ。)をもって組織する。

5 部会に、部会長及び副部会長各1人を置く。

6 部会長及び副部会長は、当該部会に属する委員の互選によって定める。

7 部会長は、部会の会務を掌理する。

8 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

9 部会の決議は、これをもって審議会の決議とすることができる。ただし、部会長は、この決議事項を次の審議会の会議において報告しなければならない。

10 前条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「審議会」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と、「委嘱」とあるのは「指名」と、「市長」とあるのは「審議会の会長」と読み替えるものとする。

(専門委員)

第6条 審議会は、専門の事項を調査審議させるため必要があるときは、専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、学識経験者その他市長が必要と認める者のうちから、市長が委嘱する。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査及び審議が終了したときは、解任されるものとする。

(分科会)

第7条 部会に、特定の事項を調査審議するため、必要に応じて分科会を置くことができる。

2 介護・高齢福祉部会に置く分科会の名称は、次のとおりとする。

(1) 地域密着型サービス運営委員会

(2) 地域包括支援センター運営協議会

3 分科会は、当該部会に属する委員のうちから、部会の部会長が指名した者をもって組織する。

4 分科会に分科会長及び副分科会長各1人を置く。

5 分科会長及び副分科会長は、当該分科会に属する委員の互選によって定める。

6 分科会長は、分科会の会務を掌理する。

7 副分科会長は、分科会長を補佐し、分科会長に事故があるとき、又は分科会長が欠けたときは、その職務を代理する。

8 分科会の決議はこれをもって部会の決議とすることができる。ただし、分科会長は、この決議事項を次の部会の会議において報告しなければならない。

9 第4条の規定は、分科会の会議について準用する。この場合において、同条中「審議会」とあるのは「分科会」と、「会長」とあるのは「分科会長」と、「委嘱」とあるのは「指名」と、「市長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

(資料の提出の要求等)

第8条 審議会、部会又は分科会は、必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第9条 審議会の庶務は、福祉政策課において処理する。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、審議会、部会及び分科会の運営について必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年3月31日規則第29号)

この附則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年6月20日規則第61号)

この附則は、平成25年7月1日から施行する。

第3期 八戸市地域福祉計画

平成 28 年（2016 年）3月発行

発 行： 八戸市 福祉部 福祉政策課

住 所： 〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目 1 番 1 号

電話番号： 0178-43-2111（内線 5013、5014）

Eメール： fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp

市ホームページ： <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>



第3期八戸市地域福祉計画